

平成 27年 6月 1日

し ょ う よ う

松陽

太陽のように
まぶしい笑顔
で

元気一杯の松陽
寮!

第104号



<発行>

広島県立障害者療育支援センター 松陽寮
発行責任者 小家石 龍次
739-0133 東広島市八本松町米満198-1
TEL 082-428-6671
FAX 082-428-6670
URL <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>
E-mail syouyou@hiroshima-wsc.jp



春だ！桜の木の下でお花見会

平成27年度を迎えるにあたって

松陽寮長 小家石 龍次

平成27年2月から、いよいよ療育支援センターの耐震及び改修工事が始まり、センター内に槌音が響くようになってきました。

そして7月からは松陽寮本体の改修工事が始まるため、第3支援課と第4支援課の利用者は、それぞれ利用者用に改修した厚生ゲストハウスとプレハブ構造の仮設建物に移動しての仮住まい生活が始まります。それだけでなく生活し辛さをかかえておられる利用者の皆さんにとってどのような困難が待ち受けているのかは、想像するだけでも不安になりますが、一番不安を感じ、苦しまれるのは利用者なのであり、最大の支援者は私たちであるということを忘れてはいけません。

そして、岩崎所長が言われていたように、「改修工事を言い訳にしない」で、必要な支援はやり抜く覚悟を持って業務に臨みましょう。新年度早々、職員の皆さんへは厳しいお願いになりますが、よろしくお願いします。

よろしくお願いします

副寮長(兼)第2支援課課長
江川 譲二

平成27年4月1日付の人事異動で、副寮長(兼)第2支援課長に就任した江川と申します。

私は、昭和56年松陽寮の開所に合わせ、松陽寮第一期生として事業団に採用され、平成4年3月末までの10年8ヶ月松陽寮に勤務した後、障害者リハビリテーションセンターに異動となり23年ぶりに松陽寮で勤務することとなりました。異動後しばらくは、前任地の利用者の障害や特性そして環境の違いからカルチャーショックというか、どのように対応したら良いのか戸惑う場面も多々ありましたが、幸い第2支援課の利用者の皆様の8割が、以前私が勤務していた当時、既に松陽寮を利用されていた顔見知りの方々ばかりであったことが救いとなり、直ぐに溶け込むことができました。

前任地では、就職や地域生活への移行を促進する支援を実践してまいりましたが、第2支援課では利用者の安心・安全を最優先に、健康管理や日々の潤いのある質の高い生活が提供できるよう、課の責任者として邁進してまいりますのでよろしくお願いします。



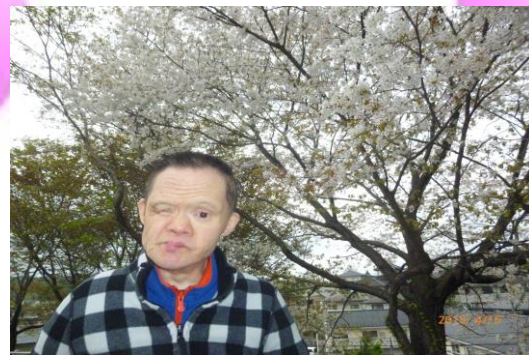
お花見散策



第1支援課

今年度は、毎年恒例のお花見会が、改修工事のため各課で楽しむ事になりました。

第1支援課では、3班に分かれサクラを求めドライブしたり、鏡山公園でサクラを楽しみながら散策したりと、清々しい春の一時を楽しみました。



実務研修を終えて

第2支援課 小早川 亮

最後のスライドが終わり、「ご清聴ありがとうございました」と、発表者全員で声を揃え、会場の聴者に向かい一礼した瞬間無事に終わったという安堵感と、やり遂げたという達成感が、研究チームメンバーにどっと押し寄せてきました。

そして、講評者の方から講評をいただき、皆で取り組んできたことが報われた嬉しさと感動に自然と目頭が熱くなったことを思い出します。「このチームで一緒に取り組めて本当に良かった」「研究に参加して良かった」等の言葉が出たのは、一人ひとりが自分の役割を全力ではたした結果と言えるでしょう。

多彩な能力の結集が大きな成果を生み出し、モチベーションを高め一体感と自信をもたらしてくれました。そのことは今後の支援において、利用者の心に寄り添う支援の実現に繋がると確信しています。

ただいま建設中の仮設住宅です



第4支援課の花壇
を守っています

行事予定



6月 7日 (日) 課別懇談会
環境整備作業



6月21日 (日) 松陽寮スポレク祭



7月25日 (土) 平岩夏祭り



編集後記



松陽寮のスローガンは「元気で、明るく、いきいきと」です。

苦しい生活がしばらく続きますが、皆さん笑顔で頑張ってください！

